

“繋がる手で心ゆたかに” ～地域資源を活用した障がい者等の就労支援～

プロジェクトの背景

■滋賀県においては、平成27年に「滋賀県障害者プラン」を策定し、**地域での暮らしを支える環境整備、障害の理解や合理的配慮の機運醸成、福祉のまちづくり推進**など、各分野にわたり取り組みを進めている。



令和2年 障害者雇用状況(滋賀労働局)

民間企業においては、雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新。
公的機関等においては、雇用障害者数は増加し、実雇用率も上昇。

プロジェクトの背景

■滋賀県の高齢化は年々進行しており、令和3年1月1日現在で**26.4%**を記録。高齢者人口は増加し続ける見通しであるため、引き続き高齢者福祉施策を進めていく必要がある。

元気なうちは、年齢関係なく働きたい！



2018年11月 花王(株)消費者研究センター
「働く実態・働く意識・健康意識と行動・生活価値観」より

・元気なうちは働き続けたいと考えている65歳から74歳までの高齢者男性は、なんと96%。

・働くことは、より良く生きるための手段の一つ。

プロジェクトの背景

■滋賀県の障害者支援施策、高齢者の思いが追い風となっているので、プロジェクトを通じて、さらに風速を高めていきたい！

■あわせて**滋賀の魅力も一緒に上げることができたら、みんながハッピーになるのでは...！？**



プロジェクトの背景



■都道府県魅力度ランキング2020（ブランド総合研究所）

滋賀県 全国37位／47都道府県

地域には隠れた魅力や資源が多く存在している一方で、その存在に気づくことなく魅力がないと感じる住民は多く存在しているのではないか？

- * 地域資源を活用した事業を起こすことにより、地域住民の誇り醸成と経済循環、雇用の創出が可能になるのでは…！？
- * 障がい者等にも可能な作業に取り組んでいただく、社会参画いただくことにより、共生社会の実現にも寄与できるのでは…！？
- * 『地域資源×福祉』=みんなハッピーに…！？

“繋がる手で心ゆたかに”

地域資源を活用した商品を開発する工程において、様々な分野の人間が繋がりがあい、経済のみならず心の繋がり、循環を起こし、あたたかく、持続可能な仕組みをめざします。

*** 特に関連の深い目標 ***



DECADE OF >>> ACTION

地域資源とは...

“地域活性化の試みにおいて特徴・素材となるもの”

【注目してみた資源】

高齢化と労働力不足により増加傾向にある、

* 耕作放棄地

* 放置森林や未利用間伐材



どんな活用・商品ができるか？
アイデアを出し合ってみました。



アイデアを簡単にまとめると

- 空いている畑を使わせてもらい、地域の人に先生になってもらって農業体験できないか 😊
- そこで収穫できた食材を使いたい 😊
- 福祉作業所で作られたお弁当を注文して昼休みに食べてます 😊
- 間伐材でお弁当のお箸とか作れませんか 😬？
- 農業、収穫、搬出、調理、販売。
実施可能な作業を担ってもらえないか 😊？
- 入れ物も中身も地域資源からできている
お弁当できません 😬？



つくってみましょう【はぴまる弁当】

- * 農園で育てた食材を使う。
- * 間伐材を加工した入れ物やお箸。
- * ロゴや包み紙に、障がい者等の方たちから絵を募集して使用する。
- * 様々な分野の人がつながりあい、支えあう。



すべての人の幸福(HAPPY)と、まる(輪、ゼロからスタート)

プロジェクトイメージ 【農×福】

* 使っていない農園を借りて、障がい者等が収穫等の作業を行う。農業従事者・高齢者など地域住民による指示、支援者によるサポートのもとで作業を行い、その対価として賃金を得ることができる。



【作業例】

一輪車での運搬、収穫作業、草刈り、水やり...

* 人によって得意なこと、苦手なことがあります。簡単な工夫、配慮をして作業に取り組んでもらう。

参考:「しがの農×福ネットワーク」

プロジェクトイメージ 【食×福】

* 収穫した農作物を利用したお弁当の生産販売。生産工程においても、障がい者等が特性に応じ、作業を担う(野菜を洗う、野菜を切る、盛り付ける...など)。



高齢者の方など地域住民と共同でお弁当作り



プロジェクトイメージ 【林×福】

* 放置森林を借りて、地域住民と共同で伐採や搬出作業を行う。



切り出した木材などを使ってお箸やお弁当箱へ加工

里山の保全と、障がい者等の就労や雇用の拡大へ

森林などの自然と触れ合うことを目的とした地域イベントを開催し、環境教育の一環とすることも！

プロジェクトイメージ 【∞×福】

* 完成したお弁当は道の駅やイベント等で販売。



* イナズマロックフェスなどでも販売！ 関係者みなで出店！

* 三日月滋賀県知事や、TM西川貴教さんによるプロモーション◎

“繋がる手で心ゆたかに、実現ステップ

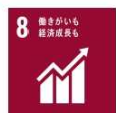
- ① 特定エリアの課題洗い出し等現状詳細調査、地域等の理解を得る、事業主体、協力先の選定。(まずは小さくはじめたい)【開始～1年】
- ② お弁当販売までの作業を分解し、障がい者等の特性に応じた業務洗い出し、農業・林業従事者等による作業のレクチャー・マッチング 【1年後～3年】
- ③ 地域資源からなるお弁当の商品化、プロモーション活動、持続可能なシステム構築 【3～5年後】
- ④ 各地域でこのモデルが広がっていく 【5年後～】

～めざすすがた～

* 障がい者や引きこもりの方、高齢者の方たちの生きがいを見いだせ、周囲の人の幸福にもつながる共生社会の実現、福祉と各業種との連携と新たな市場の形成、地域資源の有効活用、地域の魅力発信、地域経済の活性化、雇用の創出・・・。

すべての人が住み慣れたまちで、笑顔の
絶えない住みやすくあたたかいまちづく
り、環境づくりをめざします◎

幸せ～～～！！♡



【募集！】一緒にできる仲間を探しています【切実？】

m(_ _)m

- * もう似たようなことやってるよって事業所・地域がありましたら、そのノウハウを教えてほしい・・・。
- * 連携したいなって事業所様。
- * 弁当箱や箸？うちで加工できるかも！？
- * ここの畑と山を自由に使ってええやで～。
- * 退職して時間と元気が有り余ってんねん！なんか手伝えることないけ？農作業教えよか？
- * これこうしたらもっとよくなるんちゃう？

ご清聴ありがとうございました😊

